

老人クラブ

社会奉仕の日

環境にやさしい活動

廃品を利用した再生品づくり
牛乳パックでダストBOXを作る
鷹番西三宝会

平成23年9月15日(木)鷹番西三宝会は女性部・奉仕活動部・手工芸部が合同で新しい取り組みに挑戦いたしました。従来は社会奉仕の日の活動は10年来町内の碑文谷公園での清掃に取り組み、ゴミのない町の手助けを行って参りましたが、本年度は新しい試みとして、目黒区老人クラブ連合会が推奨する環境にやさしい活動に取り組みました。8月の役員会で、趣旨説明をし、環境にやさしい活動の中で我々が出来る活動は何かを検討した結果、手工芸部の手助けをいただき、廃品(牛乳パック)を利用して再生品(ダストボックス)づくりに決定しました。事務部長が早速参加者募集のポスターを制作、掲示した結果なんと70余名の参加希望があり、1回では収容出来ず2回に分けて(10月20日)実施することになりました、うれしい悲鳴があがりました、材料の牛乳パックがBOX1個につき6枚必要、250枚近くの牛乳パック集めに走り回る事になりました。

当日9月15日午後1時いよいよ制作スタート



各自の前に
図面と材料が配ら
れいよいよ制作
スタート
出来るか心配



悪戦苦闘
1時間経過
大分出来上がり
ゴミ入れの
形になってきた



手工芸部の部員が会員の出来具合をチェックして、全員が同時進行で制作がすすみ1時間もすると全員がダストBOXの原型が出来上がり、いよいよこれから仕上げ作業にはいりました。

ラストスパート仕上げに突入 みんなガンバレ



左は完成見本、さすが手工芸部
右は上部縁どりのパーツを糊づけ中



2時間経過いよいよゴールみんな満足感一杯



嵐のような2時間強が過ぎ、全員で記念撮影をしました、どの顔を見てもみなさん満足感で一杯スツテキな作品を持って家路につきました、来月も今回に負けず劣らずの会にしたいものです。

あとがき

新しい取り組みは多くの会員の協力と多くの会員の自主参加で大きな足跡を鷹番西三宝会の歴史に刻むことができました。改めて会員の皆様に感謝とお礼を申し上げます。役員一同